

平成 17 年度 江戸川区「行政評価」事務事業分析シート

整理番号 35

作成日 平成 17 年 8 月 15 日

事業名 **自転車運転免許教室**
 所属名 **土木部 駐車駐輪課 交通安全係** 電話番号 **(03) 5662-7154 (直通)**

事業の目的及び概要
 自転車運転免許教室の学科と実技試験に合格した児童に自転車運転免許証を交付し、交通安全マナーを向上させ事故防止を図ります。

事業の開始年度 平成17年度
現在の課題
 ・自転車運転免許教室の拡充を図るための学校での授業時間枠の確保
 ・自転車運転免許証作成の量産化への対応と迅速化

事業の対象者と動向 区民全体 対象年齢あり ()
 [区人口・各年4月1日現在] 対象条件 (小学校4年の1学年)

14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	対象の傾向
			6,030人	6,223人	↗ 増加傾向

備考：平成17年度新規事業

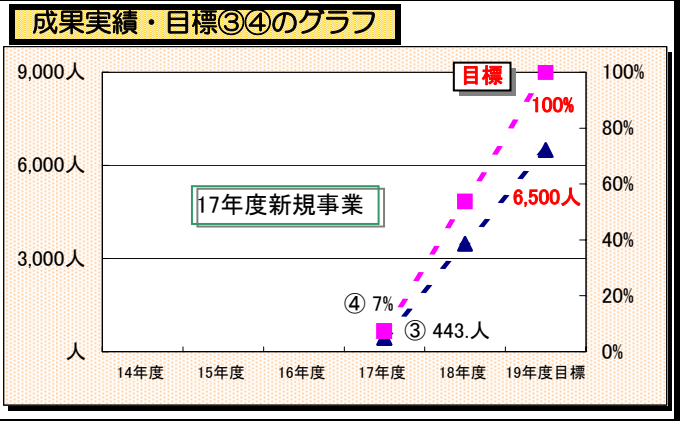
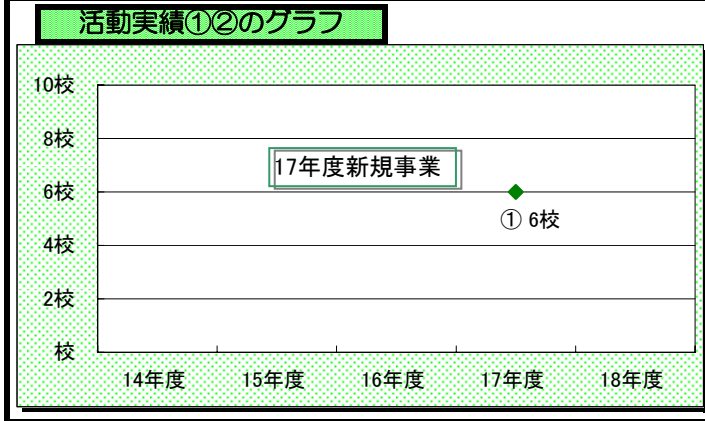
活動指標	活動指標名	活動指標の説明
①	自転車運転免許教室開講数	運転免許教室を実施した学校数
②		

活動実績	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
①	—	—	—	6校	校
②					

17年度 活動実績及び成果実績については、17年8月現在の数値

成果指標	成果・目標指標名	成果・目標指標の説明
③	免許証取得者数	免許証発行受けた児童数
④	免許証取得率	全小学校4年生児童数に対する割合

成果実績・目標	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度目標	目標値設定の説明
③	人	人	人	443人	人	6,500人	区内小学校の4年生、全ての児童の免許証取得を目標とします。
④	0.0%	0.0%	0.0%	7.3%	0.0%	100.0%	



事業名 自転車運転免許教室

実施の根拠となる法令等 なし

民間委託やボランティアなどとの協働の状況

なし あり

三警察署・三交通安全協会・区との協働業務

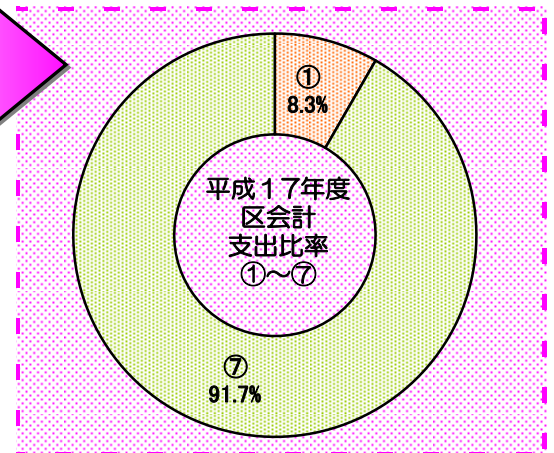
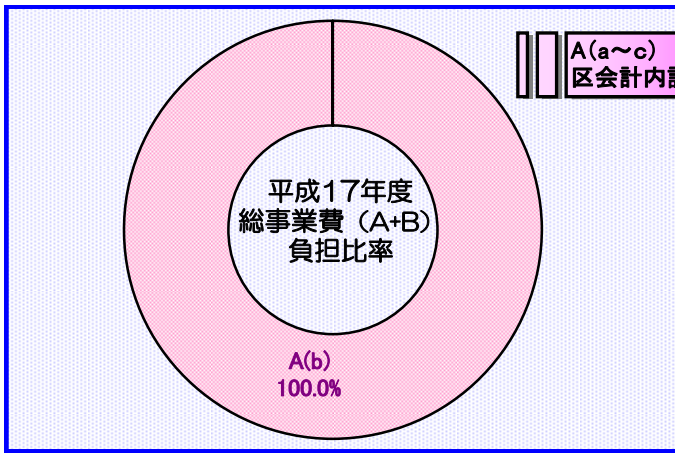
対象事業に関連する他の事業

	事業名	事業概要
①	交通安全啓発活動	春・秋・年末交通安全運動・交通安全区民の集い
②		
③		

その他背景・他の自治体の状況等

自転車運転免許教室実施区 荒川区、足立区、板橋区、文京区

17年度総事業費 (A+B) 10,003千円



A 区の会計内訳 (a~c) 10,003千円

A(a) 国都支出金 (歳入)	0千円
A(b) 区負担分	10,003千円
A(c) 受益者負担 (歳入)	0千円

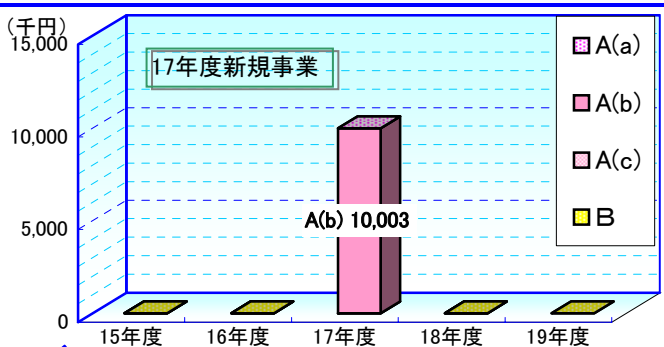
支出内訳 (①~⑦)

① 一般需要費	831千円	免許証作成に要する消耗品費等の経費
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦ 人件費	9,172千円	交通安全指導員 (非常勤職員) 等の経費
		ア 常勤職員 0.2人
		イ 非常勤職員 2.0人
		ウ 臨時職員 1.0人

B 利用者が事業者等へ直接支払う額

0千円

総事業費の経年変化 (15年度~)



17年度の

・対象者一人あたりの経費 **1,659円**

・免許証取得者一人あたりの経費 (17年度予定者: 900人) **11,114円**

経費の説明

経費の約9割が交通安全指導員等の人件費となっています。(※自転車免許証教室以外の交通安全啓発活動にかかる費用も一部含みます。)

経費は全額 区が負担しています。

平成17年度 江戸川区「行政評価」内部評価シート

整理番号	35	事業名	自転車運転免許教室
------	----	-----	-----------

所属名	土木部 駐車駐輪課 交通安全係
-----	-----------------

所 管 課 長 評 価

そう思う ←→ そう思わない

評価項目	評点	5	4	3	2	1	備 考
【必要性・代替性】							
1	区が実施すべき事業である。	○					
2	目的を達成するために他の手段がある。	○					啓発活動としては様々な手法があり、総合的に進める
【実績】							
3	目的を果たすために有効な事業である。	○					
4	事業の成果を上げている。	○					
【公平性】							
5	対象者や実施回数、助成額等は適切である。	○					
6	受益者負担を検討する必要がある。					○	
【協働の可能性】 ※既に実施している場合は、拡大・維持・縮小の可能性として評価							
7	ボランティアやNPOの活用が可能である。		○				
8	民間委託の可能性はある。					○	
【効率性】							
9	工夫や改善が必要である。			○			
10	経費を削減できる可能性がある。					○	

所 管 部 長 の 意 見

自転車運転免許証の交付を受けた児童はもとより、保護者や学校側からも大変喜ばれており、交通安全マナーの向上に大きな効果を発揮しているので、今後も工夫を重ね事業を推進していく。

平成17年度 江戸川区「行政評価」外部評価シート

整理番号	35	事業名	自転車運転免許教室
-------------	----	------------	-----------

所属名	土木部 駐車駐輪課 交通安全係
------------	-----------------

外部評価委員会評価

そう思う ←→ そう思わない

評価項目	評点	5	4	3	2	1	備考
【必要性・代替性】							
1	区が実施すべき事業である。		○				
2	目的を達成するために他の手段がある。			○			
【実績】							
3	目的を果たすために有効な事業である。		○				
4	事業の成果を上げている。		○				
【公平性】							
5	対象者や実施回数、助成額等は適切である。			○			
6	受益者負担を検討する必要がある。				○		
【協働の可能性】 ※既に実施している場合は、拡大・維持・縮小の可能性として評価							
7	ボランティアやNPOの活用が可能である。		○				
8	民間委託の可能性はある。		○				
【効率性】							
9	工夫や改善が必要である。		○				
10	経費を削減できる可能性がある。		○				

外部評価委員会の意見

- ・事業開始当初は4年生に限定しないで、なるべく多くの児童・生徒に対して実施する必要があるのではないか。
- ・子どもたちの事故防止と命を守るために必要な事業であり、今後も積極的に展開してほしい。
- ・子どもたちへの教育もちろん大事であるが、親世代に対するマナー教育もするべきである。
- ・自転車も道路交通法を遵守しなければならないというあたりまえのことが、区民には意外と理解されていない。意識啓発は重要である。
- ・今までやっていなかったのが不思議と思えるほど、よい事業であると思う。